

支援を必要とする妊産婦を見落とさないために

- アンケート結果から産科医療施設による「支援が必要な妊産婦」を拾いあげるシステムは年々構築されつつあると思われる。
- しかし、産後うつが発症しやすい産後2週間での健診は、公的補助のある施設では95.1%で行われているが、公的補助のない施設では61.2%にとどまっている。

⇒産婦健康診査（産後の健診の公的補助）の普及が必要である。

適切な支援に結びつけていくために

- 支援プランの1つである産後ケア事業の普及が重要だが、様々な問題が残されている。
- ⇒利用者 と 提供者の条件緩和、助成の拡大、里帰り分娩者等への対応が必要である。**
- アンケート結果からは、精神疾患合併妊娠や特定妊婦の対応については改善がみられていない。
- ⇒多職種連携を進めるために、妊産婦診療を行う精神科施設に対する診療報酬等を考えていく必要がある。**